

薄型センターホール型荷重計

グラウンドアンカーの
維持管理測定

GL-1 NCB-2 (D)

型式の①は測定範囲 (N) を、②はセンターホール径 (mm) を挿入



アースアンカー・PC/ロックアンカーなどにかかる荷重測定に用います。

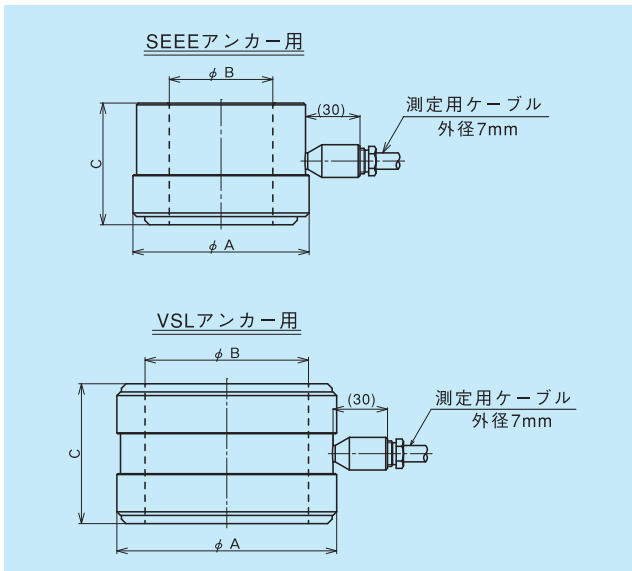
とくに既設アンカーの緊張力をリフトオフしてモニタリングする荷重計として最適です。

- 薄型・軽量(当社比で従来品の1/2~1/3)
- 独自の荷重伝達機構の採用により偏心荷重や繰返し荷重に対しても安定
- 容量300kN~2MNまでご指定により製作いたします
- SEEE、VSLその他のアンカー工法に対応して製作いたします

【仕様 (代表製品)】

型式	GL-1.0MNCB-□
測定範囲	1.0MN
定格出力 (RO)	1.0mV/V以上
定格出力ひずみ	2000×10 ⁻⁶ st以上
直線性	±2.0% RO以内 ※
ヒステリシス	±0.5% RO以内
許容過負荷	120%
許容温度範囲	-20~+80℃
最大印加電圧	10V
入・出力抵抗	350Ω ±2%
絶縁抵抗	DC25Vにて500MΩ以上
許容耐水圧	0.2MPa
質量	右表を参照
ケーブル	S4-3 (0.3mm ² 4心、シングルシース)
ケーブル標準長	3m

※ 数値は専用の治具で載荷した値です。



●各部寸法

アンカータイプ	SEEE	VSL
	(F170UA)	(E5-7)
型式	GL-1.0MNCB-74SE	GL-1.0MNCB-90V
φA	112	125
φB	73	88
C	73	80
質量	約2.8kg	約3.2kg

■型式の末尾にDとつくものは、(独) 土木研究所の「アンカーへの取り付け・交換が容易な新型アンカー荷重計の開発」の共同研究 (Aki-Mos研究会) に参加し開発した荷重計です。

■工業所有権

- ・実用新案登録3135916号「センターホール型荷重変換機」
共同権利者：独立行政法人土木研究所
- ・実用新案登録3147947号「センターホール型荷重計」

■ご指定の寸法で製作も可能です。